

事務事業名	十日市運営支援事業		所属部局	市民部	単位番号	4149				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	若草窓口サービスセンター	課長名	野田 正貴				
			所属担当	窓口サービス担当	担当者名	藤巻 勝友				
基本政策	基本計画体系	1 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 02	項 01	目 12	細目 020	細々目 13
政策		02 地域ネットワークの充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策		03 地域コミュニティ活動への支援								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和40 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	南アルプス市十日市祭典補助金交付要綱					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	毎年2月10日・11日の二日間で開催されている。露店、木製品、生活用具が売られており、毎年約15万人の人出がある。H24年の暴力団問題の指摘を受け出店者とりまとめを商工会に依頼した25年は2日間で14万人の人出があった。駐車場の確保が重要とされている。26年は前々日の大雪にみまわれ開催が危ぶまれたが関係各所の除雪により開催できた。2日間で10万人の人出となった。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				補助金	3,250		計	3,250		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 地元十日市場区主体の十日市保存会を立ち上げていく。 27年度活動予定 地元十日市場区主体の十日市保存会を立ち上げていく。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	① 木工製品、縁起物、飲食品等の嗜好者
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	① 自分の欲しいものを買いに来る。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市外の人が本市に興味を持つ。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 打ち合わせ会議出席人数	人
	イ 看板設置枚数	枚
	ウ 駐車場利用台数	台
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 県民人口	人
	イ 市人口	人
	ウ 区人口	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 来訪者数	人
	イ 「歴史を理解した」と答えた参加者割合	%
	ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 観光に関する問い合わせ数	件
	イ 入込客数	人

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円		3,369	4,000	4,000	4,000	4,000
		一般財源	千円	3,915					
	事業費計(A)	千円	3,915	3,369	4,000	4,000	4,000	4,000	0
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	80
		人件費計(B)	千円	364	364	364	364	364	364
	(A)+(B)	千円	4,279	3,733	4,364	4,364	4,364	4,364	0
活動指標	ア	人	45.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0
	イ	枚	40.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	ウ	台	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0
対象指標	ア	人	865,000.0	865,000.0	865,000.0	865,000.0	865,000.0	865,000.0	865,000.0
	イ	人	73,400.0	73,500.0	73,600.0	73,600.0	73,600.0	73,600.0	73,600.0
	ウ	人	1,350.0	1,350.0	1,350.0	1,350.0	1,350.0	1,350.0	1,350.0
成果指標	ア	人	160,000.0	160,000.0	160,000.0	160,000.0	160,000.0	160,000.0	160,000.0
	イ	%							
	ウ								
上位成果指標	ア	件							
	イ	人							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	十日市がいつから始まったのかは不明。文化継承及び観光PRのため合併前の若草町時代から補助金を出している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	甲西バイパスの開通により会場が一部寸断された。そのため交通規制・交通整理・警備委託・信号規制業務等事務量が増えた。平成20年度より実行委員会形式に移行し、職員の事務は限定的なものとなった。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	地区住民からは違法駐車やゴミの苦情がよせられている。また露天商のためのお祭りになっており、地区にはメリットはないとの意見もある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	職員がおこなっていた事務を実行委員会に移行させる形をとり、職員のかかわる業務を減らしてきた。今回露天商問題が緩和されたことを受け、出店者の募集、認定、警察との認定作業を商工会が担当したが、その他の道路占用・道路使用等の許可書類の事務手続きが増え、職員の係わる時間が増えた。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	後援から共催に格上げされたことにより事務処理や当日の出発等の時間が増え改善にはならなかった。

事務事業名	十日市運営支援事業	所属部	市民部	所属課	若草窓口サービスセンター
-------	-----------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市はもっと観光・特産品のPRの機会として活用すべき。しかし地区ではこの事業を市が主催で行うことを希望している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 地域の伝統的な催しに対し、補助金を交付することはよいと思う反面、一地区の行事に税金を補助金として交付するのは公平性という点からは疑問に思われる。地区でも補助金で行う事業として望んでいない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域の伝統的な催しであるので、地域主体の事業として維持継続が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的のに向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 祭典のメインは露天商の賑わいであり、主な収入は出店者からの出店料と市からの補助金であるが、出店者245店舗のうち全国からの露天商が156店舗(約64%)を占めており、抗争事件後は警察のチェックも厳しいため、これ以上露天商を増
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 伝統のあるお祭りがなくなることによって、南アルプス市を訪れる機会・文化に触れ合う機会がなくなる。補助金がなくなった場合、祭典の実施はとても厳しいものとなる。露天商からの出店料など負担金を取るだけでは難しい。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 実行委員会として駐車場を有料にするなど、ある程度収入を確保することにより補助金を削減することはできる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 実行委員会が既に主体をもって運営しており、23年度より予算計上も従来の援助費を補助金に踏めて一本化にまとめる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 来訪者に対し、積極的に市をPRするよい機会として利用する。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	十日市祭典実行委員会の組織強化と、意識の改革が必要と思われる。今後は⑦での記述のとおり、実行委員会として収入を確保することにより、補助金の削減が図られる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 実行委員会組織の強化及び意識改革。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 以前の実行委員会は主催は十日市場区であり、出店関係は露天商の代表者に全て任せており、区は有料駐車場の管理が主であったが、「生まれ変わった十日市」として再出発して現在の実行委員会組織となった。しかし現状では市や商工会等には限界があるため、改めて再編十日市場区全体で対応する必要であり、併せて共催である市・JAこま野・商工会が行っている業務は、基本的に十日市場区で行うのが望ましい。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					